

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-204478

(43)Date of publication of application : 05.08.1997

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 17/30

(21)Application number : 08-010739

(71)Applicant : TOPCON CORP

(22)Date of filing : 25.01.1996

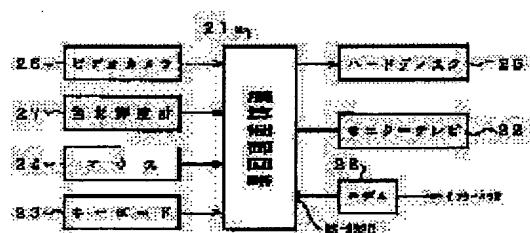
(72)Inventor : FUKUMA YASUFUMI

(54) MERCHANDISE INFORMATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily confirm whether the dimension of an article to be selected is matched with a user or not at the time of article selection by relationally recording image data and the real dimension of that image through an arithmetic control circuit.

SOLUTION: A marker or an article salesman measures the shooting condition data of a video camera 26 before inputting the information of the company itself or merchandise to be sold while using a personal computer. Namely, in the state of turning on an illumination light source 18 and projecting illumination light from the light source 18 onto a diffuse reflection board 29, standard white reflected light flux from the reflection board 29 is measured by a color luminance meter 27, the reflection board 29 is shot by the camera 26, and the image data of this video camera 26 are compared with the data of the color luminance meter 27. Then, this compared data are recorded in a hard disk 25 as standard white data (illumination condition data) at the time of photographing with the camera 26. This comparison is recorded by an arithmetic control circuit 21a.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.12.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 01.10.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-204478

(43) 公開日 平成9年(1997)8月5日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/24	
17/30			15/40	3 7 0 G

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平8-10739

(22) 出願日 平成8年(1996)1月25日

特許法第65条の2第2項第4号の規定により図面第8, 9, 10, 11, 12図の一部は不掲載とする。

(71) 出願人 000220343

株式会社トプコン

東京都板橋区蓮沼町75番1号

(72) 発明者 福岡 康文

東京都板橋区蓮沼町75番1号株式会社トプコン内

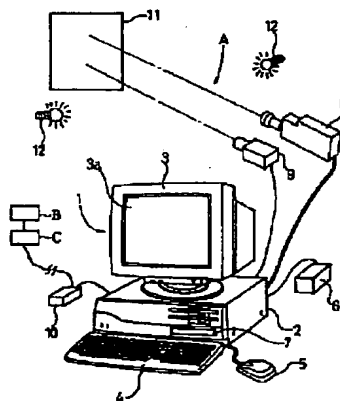
(74) 代理人 弁理士 西脇 民雄

(54) 【発明の名称】 商品情報システム

(57) 【要約】

【課題】 選択した商品が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することを可能とするための商品情報を提供すること。

【解決手段】 再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影するモニターテレビ22と、ビデオカメラ26で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路21aと、演算制御回路21aからの画像データを記録するハードディスク27を備える商品情報システムにおいて、演算制御回路21aは、画像データとその画像の実際の寸法とを関係付けてハードディスク27に記録させる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記画像データとその画像の実際の寸法とを関係付けて前記情報記録手段により記録させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 2】 再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記商品が撮影されるとき照明条件を測定する測定手段を備えると共に、前記演算制御回路は、前記測定手段からの照明条件を前記画像データと共に前記情報記録手段で記録させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 3】 再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記撮影手段により前記商品の角度を変えて撮影した複数の画像データや前記商品を撮影ポーズを変えて撮影した複数の画像データを関連付けて前記情報記録手段で記録させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 4】 記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 5】 記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその実際の寸法を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを寸法合せて前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 6】 記録媒体に記録されたカタログ販売のた

めのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、

撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその撮影時の照明条件を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記照明条件に応じて色合せし前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする商品情報システム。

【請求項 7】 記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、

撮影手段により撮影された利用者の画像及びその撮影角度や撮影ポーズを関連させて記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は記録手段から呼び出した利用者の画像をこれの撮影角度やその撮影ポーズと同じ撮影角度や撮影ポーズの商品像を選択して前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする商品情報システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを用いる商品情報システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、CD-ROMやパソコン（パーソナルコンピュータ）等が急速に普及してきており、このCD-ROMやパソコン（パーソナルコンピュータ）を有する家庭も急激に増加する傾向にある。一方、双方向通信を行って画像情報や文字情報等のデジタルデータのやり取りを行うことのできるインターネット網も急速に発達する傾向にある。

【0003】この様なCD-ROMやインターネット或はパソコン等の普及により、これらを利用して商品情報を画像と共にデジタルデータとして各家庭に供給しようとすることも試みられている。

【0004】従って、消費者は、家庭にいてパソコンを操作することにより、インターネットを介して目的のコンピュータにアクセスして、そのコンピュータに記録されている商品情報を呼び出し、必要な商品情報を得ることができる。しかも、双方向通信ができるために、その商品が気に入った場合には、パソコンの操作のみでその商品を注文することも可能である。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この様にして選択して注文した商品が果たして自分（注文者）に合うか否かを、本人が判断するのは困難であった。しかも、

色彩データが商品画像と共に得られたとしても、選択した商品が自分の顔の合わなかったり、或はL、M、S等のサイズデータが商品画像と共に得られたとしても、商品が自分の体型に合わなかったりすることも考えられる。

【0006】そこで、この発明は、選択した商品が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することを可能とするための商品情報システムを提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、請求項1の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記画像データとその画像の実際の寸法とを関係付けて前記情報記録手段により記録させる商品情報システムとしたことを特徴とする。

【0008】また、請求項2の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記商品が撮影されときの照明条件を測定する測定手段を備えると共に、前記演算制御回路は、前記測定手段からの照明条件を前記画像データと共に前記情報記録手段で記録させることを特徴とする。

【0009】更に、請求項3の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記撮影手段により前記商品の角度を変えて撮影した複数の画像データや前記商品を撮影ポーズを変えて撮影した複数の画像データを関連付けて前記情報記録手段で記録させることを特徴とする。

【0010】請求項4の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする。

【0011】請求項5の発明は、記録媒体に記録された

カタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその実際の寸法を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを寸法合せして前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする。

10 【0012】請求項6の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその撮影時の照明条件を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記照明条件に応じて色合せし前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする。

【0013】請求項7の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の画像及びその撮影角度や撮影ポーズを関連させて記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は記録手段から呼び出した利用者の画像をこれの撮影角度やその撮影ポーズと同じ撮影角度や撮影ポーズの商品像を選択して前記表示手段上に重ねて合成表示させることを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。

【0015】[構成]図2(a)において、Aは家庭に設けられている商品情報システム（コンピュータシステム）、Bは商品情報提供側（メーカーや商品販売業者側）に設けられている商品情報システム（コンピュータシステム）で、この両商品情報システムA、BはインターネットCを介して接続されている。

【0016】<家庭側の構成>図1に示した商品情報システムAは、家庭に備え付けのパソコン（パーソナルコンピュータ）1を有する。このパソコン1は、パソコン本体2と、モニターテレビ3（表示手段）、キーボード4（入力手段）、マウス5、情報記録手段としてのハードディスク6（情報記録再生装置）等を有する。また、このパソコン本体2には、CD-ROM7が装着されている。しかも、これらのモニターテレビ3、キーボード4（入力手段）、マウス5、ハードディスク6、CD-ROM7等は、パソコン本体2の演算制御回路2a（図

2(b)参照)に接続されている。

【0017】また、演算制御回路2aには、ビデオカメラ8(撮影手段)及び色彩輝度計9(測定手段)が接続されていると共に、RS-232Cを介してモデム10が接続されている。この演算制御回路2aは、モデム10及びインターネットCを介して、商品情報を提供する商品情報システムBにアクセスできるようになっている。尚、図1中、11は標準で白色の拡散反射板、12はビデオカメラ8で撮影を行う際に用いる照明光源である。

【0018】<商品情報システムBの構成>この商品情報システムBは、図3に示したように、パソコン(パーソナルコンピュータ)20を有する。このパソコン20は、パソコン本体21と、モニターテレビ22(表示手段)、キーボード23(入力手段)、マウス24、情報記録手段としてのハードディスク25(情報記録再生装置)等を有する。しかも、これらのモニターテレビ22、キーボード23(入力手段)、マウス24、ハードディスク25等は、パソコン本体21の演算制御回路21a(図4参照)に接続されている。

【0019】また、演算制御回路21aには、ビデオカメラ26(撮影手段)及び色彩輝度計27(測定手段)が接続されていると共に、RS-232Cを介してモデム28が接続されている。この演算制御回路21aは、モデム28を介してインターネットCにアクセスできるようになっている。

【0020】尚、図1中、29は標準で白色の拡散反射板、18はビデオカメラ26で撮影を行う際に用いる照明光源である。

【0021】[作用]

<メーカー等における入力>メーカーや商品販売業者は、パソコン20を用いて、自社または販売しようとする商品の情報を入力を行う前に、ビデオカメラ26の撮影条件データを計測する。即ち、照明光源18を点灯させて、照明光源18からの照明光を拡散反射板29に投影した状態で、拡散反射板29からの標準白の反射光束を色彩輝度計27で計測すると共に、拡散反射板29をビデオカメラ26で撮影して、このビデオカメラ26の画像データを色彩輝度計27のデータと比較させて、この比較データをビデオカメラ26による撮影時の標準白色のデータ(照明条件データ)としてハードディスク25に記録させる。この比較・記録は演算制御回路21aによって行われる。

【0022】次に、図5(a)に示したように、ブルー背景板30を用意し、ブルー背景板30の上に商品31を載置し、この商品31をビデオカメラ26で撮影してハードディスク25に記録させる。

【0023】一方、図5(b)に示したようなブルー背景32及び商品支持スタンド33を用意する。この商品支持スタンド33は、マネキン型でブルーに着色されたも

のをを用い、各関節の部分を実意の方向に曲げることができると共に曲げた状態に摩擦保持できるようになっている。この様な商品支持スタンド33は、各サイズに応じたものを予め用意しておく。

【0024】そして、この商品支持スタンド33に商品31を着せて、この商品支持スタンド33をブルー背景32の前に配置し、商品31をビデオカメラ26で撮影する。この撮影は、予め角度を決めた何通りかの撮影角度や予め決めた何通りかの撮影ポーズで行うが、この撮影ポーズは商品スタンド33の関節等を曲げることにより設定できる。尚、この様に撮影に際してブルー背景32を用いるのはクロマキー処理のためであり、この点は以下の説明の他のブルー背景においても同じである。

【0025】演算制御回路31aは、この様にして撮影された各ポーズ毎の商品31の画像データ同士を関連付けると共に、この各画像データにポーズ番号データを関連させてハードディスク25に記録させる。尚、演算制御回路31aは、この様にして撮影した商品31の画像31aは、当然に上述した色彩輝度計27と拡散反射板28による比較データを基に、画像合成のためにモニターテレビ22上に再現する。

【0026】また、演算制御回路31aは、この様にして撮影された商品31の画像データに、画像データによる商品画像の実際の寸法を関係付けてハードディスク25に記録させる。この実際の寸法は商品31を作るときの寸法を予めデータとして演算制御回路31aを用いる。この寸法のデータとしては、例えば袖の長さ、胴周り寸法、首周り寸法等がある。また、モニターテレビ22の画像の1ドットが何mmに相当するか等のデータも画像データと共に関連させてハードディスク25に記録させる。

【0027】図6に示したように、実際に商品を装着したモデルによる撮影も各撮影ポーズ等に応じて撮影して、上述のデータに関連させてハードディスク25に記録させる。

【0028】この様なメーカーや商品販売業者により提供する商品情報はCD-ROM等で提供することもできる。

【0029】<家庭側における商品選択>

(i)家族データ入力

一方、家庭側では、パソコン1を用いて、商品の情報の選択等を行う前に、ビデオカメラ8を用いて、家族の顔や全身の撮影を行う。この撮影は、撮影条件が微妙であるので、通常は業者が行うが、家族によって行うこともできる。

【0030】この家族の顔や全身の撮影の前に、撮影条件データを計測する。即ち、照明光源12を点灯させて、照明光源12からの照明光を拡散反射板11に投影した状態で、拡散反射板11からの標準白の反射光束を色彩輝度計9で計測すると共に、拡散反射板11をビデ

オカメラ8で撮影して、このビデオカメラ8の画像データを色彩輝度計9のデータと比較させて、この比較データをビデオカメラ8による撮影時の標準白色のデータ（照明条件データ）としてハードディスク6に記録させる。この比較・記録は演算制御回路2aによって行われる。

【0031】次に、図5(b)に示したブルー背景32と同じブルー背景（図示せず）を用いて、家族にブルーのウェアを装着させて、テレビカメラ8により家族の顔を撮影し、顔面像をハードディスク6に記録させる。また、同様なブルー背景を用いて全身の撮影を行う。この際、身体にフィットする例えば肌色のレオタード等その他のウェアを装着して全身の撮影を行う。尚、ウェアの色彩は、肌色に限定されるものではなく、他の色でもよい。この全身の撮影は、何通りかの撮影角度あるいは何通りかの撮影ポーズで行い、各撮影ポーズをその番号データと共に関連させてハードディスク6に記録させる。この撮影角度や撮影ポーズは商品の撮影ポーズや撮影角度に対応させて行い、撮影された全身の撮影データの記録に際しては、商品の撮影ポーズや撮影角度に対応する番号データを撮影データに関連させてハードディスク6に記録する。

【0032】(ii)商品の選択

この様な(i)の家族データの記録が行われた後、パソコン1のキーボード4を操作してインターネットCにアクセスし、このインターネットCを介してメーカー或は業者側の商品情報システムBにアクセスし、商品情報システムCの通販プログラム、例えば図7に示したようなインターネット通販ショッピング20001をオープンさせ、モニターテレビ3の画面3aに例えば「アパレル」、「メガネ」、「時計」、「くつ」、「宝飾」、「アウトドア」等のメニュー表示をさせる。

【0033】この状態で、もし「アパレル」関連の商品を選択したい場合には、マウス5を用いてカーソル5aを画面3a上で「アパレル」に合せると、「アパレル」の部分が白黒反転し、この状態でマウス5の左ボタンをクリックさせ、図8に示したメイン/メニューを画面3aに表示させる。尚、この様なメニューの中の項目選択は、「メイン/メニュー」の左右にある枠、即ち左カーソル枠41、右カーソル枠42をマウス5でクリック操作することにより行うこともできる。すなわち、図8の画面3aにおいて、カーソル5aを「メニュー」の左枠41に合わせてマウス5の左ボタンをクリックすると白黒反転している部分が上に一つ移動し、カーソル5aを「メニュー」の右枠42に合わせてマウス5の左ボタンをクリックすると白黒反転している部分が一つ下に移動するようにすることにより、項目選択を行うこともできる。このカーソル枠41、42は、以下の各画面において同じ機能を有するので同じ符号を付してその説明を省略する。

【0034】図8の画面において、メイン/メニューの中の「バーバリー」を見たい場合には、「バーバリー」の部分にカーソル5aを合わせてマウス5の左ボタンをクリックし、図9に示した商品紹介画像が表示された複数の画像枠40を画面3aに表示させる。尚、図9中、図示する上での便宜上、一つの画像枠40のみに商品紹介画像が表示されている状態を表示させたが、実際には他の画像枠40にも商品の画像が表示される。

【0035】この図9の画面3aにおいて、気に入った商品があれば、その商品が表示されている画像枠40にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックし、図10に示した様な商品の詳細情報を表示させる。

【0036】そして、商品が自分に合っているか否かを確認したいときには、「着てみる」の枠にカーソル5aを移動させて、マウス5の左ボタンをクリックすると、図11に示した様に先ず自分の顔の画像50を商品画像51に合成表示させる。

【0037】この図11の画面3aにおいて、カーソル5aを「メニュー」に合わせてマウス5の左ボタンをクリックすると、異なる撮影角度や撮影ポーズの商品画像に対応する複数の画像枠が図9に示した商品画像と同様に小さく表示され、この複数の画像枠の一つを選択することにより、選択された画像に対応する自分の全体像とこれに対応する撮影角度や撮影ポーズの商品画像との合成画像が画面3aに表示されるようになっている。尚、この図11の画面3aにおいて、カーソル枠41、42をカーソル5aで指示して、マウス5の左ボタンをクリックすることにより、異なる撮影角度や撮影ポーズの商品画像と自分（利用者）の全身画像の合成画像を順次表示させることもできる。

【0038】この様に演算制御回路2aはハードディスクから呼び出した利用者の画像をこれの撮影角度やその撮影ポーズと同じ撮影角度や撮影ポーズの商品像を選択してモニターテレビ3上に重ねて合成表示させる。この際、演算制御回路2aは、ハードディスク6に記録された利用者の顔面像や全身像と商品像とを寸法合せてモニターテレビ3上に重ねて合成表示させる。しかも、演算制御回路2aは、ハードディスク6に記録された利用者の顔面像や全身像と商品像とを照明条件に応じて色合せしモニターテレビ3上に重ねて合成表示させる。

【0039】また、この画面3aでは、背景43も変えることができ、例えば幾つかの背景を用意しておき、複数の背景選択枠44のいずれかにカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、背景43を「並木」、「海」、「山」、「人混み」等種々選択できる。また、ズーム枠45にカーソル5aを合わせてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、画像枠40内の任意の範囲を指定すると、その範囲を拡大する。尚、このズームを解除するには、マウス5の右ボタ

ンをクリックすればよい。

【0040】この様にして画面3a上で確認した商品が気に入った場合には、「オーダー」の枠にカーソル5aを合わせてマウス5の左ボタンをクリックして、図12に示したオーダー画面を画面3aに表示させる。そして、この画面において、「支払い」の方法をマウス5によりAMEX（登録商標）、WISA、MASTER（登録商標）等の中から選択し、次に「氏名」や「住所」をキーボード4を用いて行う。次に、この記載内容に間違いがある場合には、「キャンセル」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、図11に示した前画面に戻すことができる。また、記載内容で商品を注文したい場合には「確認」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、パソコン1の演算制御回路2aは注文内容をメーカー側のパソコン20の演算制御回路21aにインターネットCを介して入力し、この入力データをハードディスク27に記録させる。

【0041】尚、上述した商品情報がCD-ROMのディスクで提供された場合には、このディスクをパソコン1のCD-ROM7で再生することにより、上述した様にして商品を選択して注文できる。

【0042】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記画像データとその画像の実際の寸法とを関係付けて前記情報記録手段により記録させる構成としたので、選択する商品の寸法が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することができる商品情報を提供できる。

【0043】また、請求項2の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記商品が撮影されるとき照明条件を測定する測定手段を備えると共に、前記演算制御回路は、前記測定手段からの照明条件を前記画像データと共に前記情報記録手段で記録させる構成としたので、選択した商品の色彩が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することができる商品情報を提供できる。

【0044】請求項3の発明は、再生画像によるカタログ販売のための商品を撮影する撮影手段と、前記撮影手段で撮影された商品の画像信号をデジタルデータの形式に変換する演算制御回路と、前記演算制御回路からの

画像データを記録する情報記録手段を備える商品情報システムにおいて、前記演算制御回路は、前記撮影手段により前記商品の角度を変えて撮影した複数の画像データや前記商品を撮影ポーズを変えて撮影した複数の画像データを関連付けて前記情報記録手段で記録させる構成としたので、選択した商品が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することができる商品選択情報を提供できる。

【0045】請求項4の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記表示手段上に重ねて合成表示させる構成としたので、選択した商品が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することができる。

【0046】請求項5の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその実際の寸法を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は前記記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを寸法合せて前記表示手段上に重ねて合成表示させる構成としたので、選択した商品が自分に合う寸法か否かを商品選択時に容易に確認することができる。

【0047】請求項6の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の顔面像や全身像及びその撮影時の照明条件を記録する記録手段を備えると共に、前記演算制御回路は記録手段に記録された利用者の顔面像や全身像と前記商品像とを前記照明条件に応じて色合せし前記表示手段上に重ねて合成表示させる構成としたので、選択した商品が自分に合う色彩か否かを商品選択時に容易に確認することができる。

【0048】請求項7の発明は、記録媒体に記録されたカタログ販売のためのデジタル形式の画像データを読み取って処理する演算制御回路と、前記演算制御回路により処理された画像データによる商品像を表示させる表示手段を備える商品情報システムにおいて、撮影手段により撮影された利用者の画像及びその撮影角度や撮影ポーズを関連させて記録する記録手段を備えると共に、前

11

記演算制御回路は記録手段から呼び出した利用者の画像をこれの撮影角度やその撮影ポーズと同じ撮影角度や撮影ポーズの商品像を選択して前記表示手段上に重ねて合成表示させる構成としたので、選択した商品が自分に合うか否かを商品選択時に種々の角度から容易に確認することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】家庭側で用いるこの発明にかかる商品情報システムの一例を示す説明図である。

【図2】(a)は図1に示した商品情報システムを備える商品情報システムの概略説明図、(b)は図1の商品情報システムの制御回路である。

【図3】メーカーや商品販売業者側で用いる商品情報システムの一例を示す説明図である。

【図4】図4に示した商品情報システムの制御回路である。

【図5】(a)、(b)は図4、図5に示した商品情報システムによる商品画像入力のための説明図である。

【図6】図4、図5に示した商品情報システムによる商品画像入力の説明図である。

【図7】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

【図8】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

*

12

*【図9】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

【図10】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

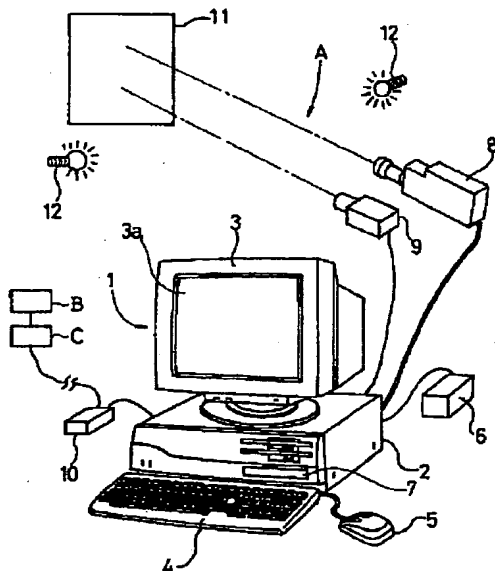
【図11】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

【図12】家庭側における商品情報システムの使用説明図である。

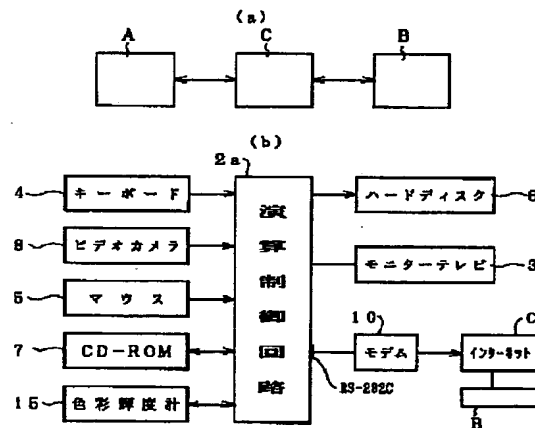
【符号の説明】

- 1…パソコン
2…パソコン本体
2a…演算制御回路
3…モニターテレビ（表示手段）
6…ハードディスク（情報記録手段）
8…ビデオカメラ（撮影手段）
15…色彩輝度計（計測手段）
20…パソコン
21…パソコン本体
21a…演算制御回路
22…モニターテレビ（表示手段）
25…ハードディスク（情報記録再生手段）
26…ビデオカメラ（撮影手段）
27…色彩輝度計（計測手段）

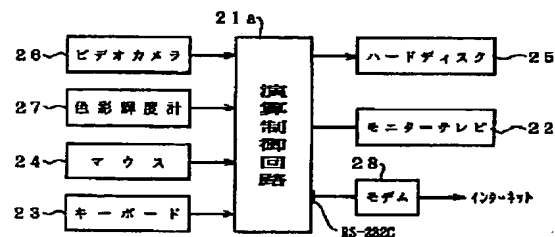
【図1】



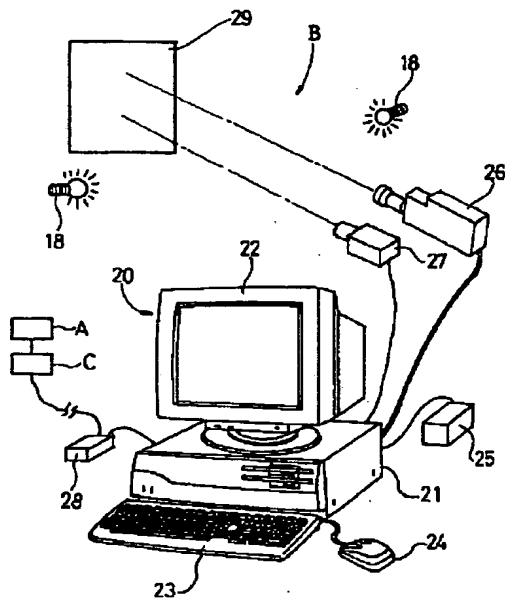
【図2】



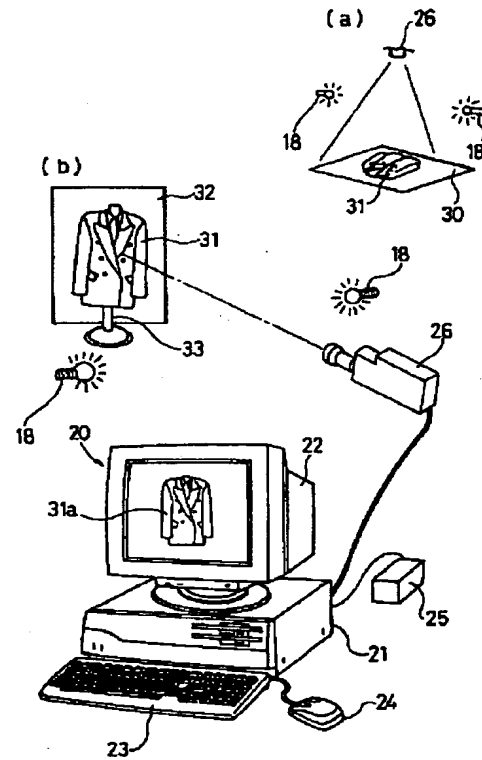
【図4】



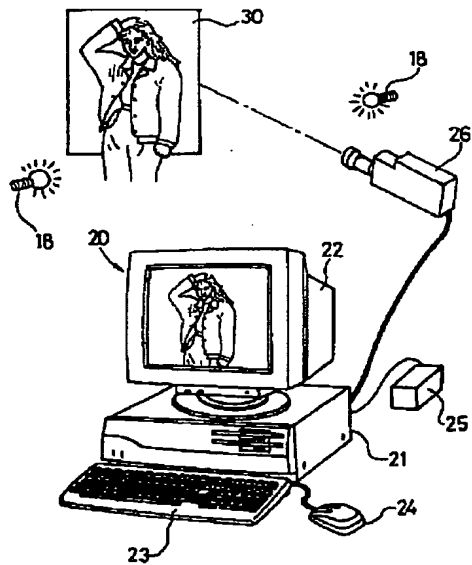
【図3】



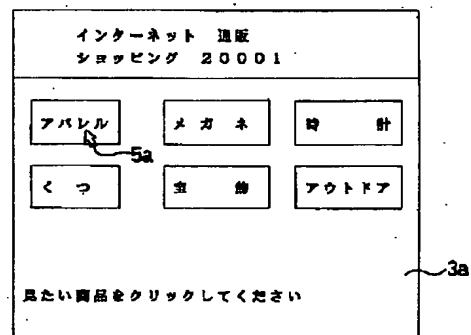
【図5】



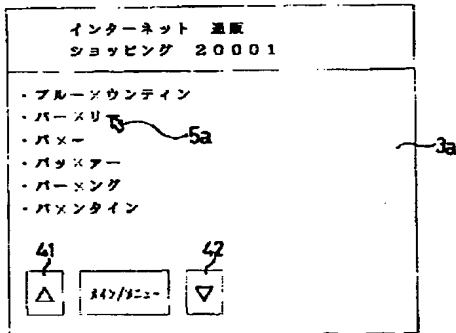
【図6】



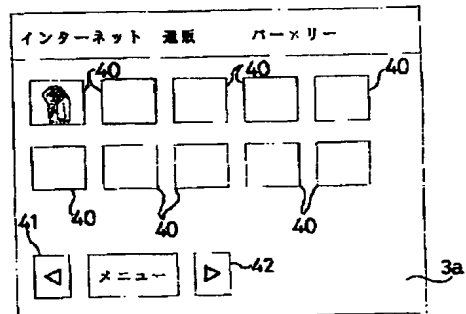
【図7】



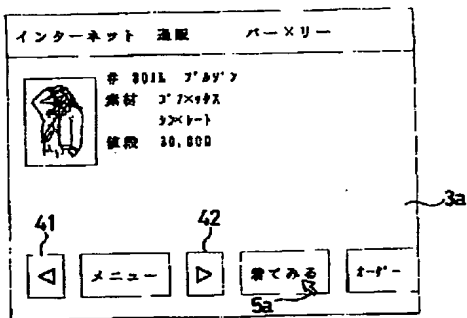
【図8】



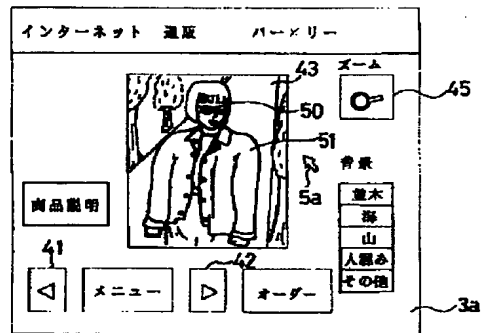
【図9】



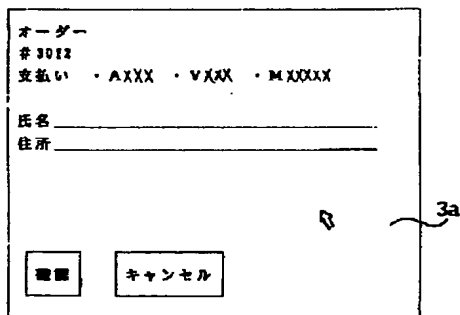
【図10】



【図11】



【図12】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成14年4月5日(2002.4.5)

【公開番号】特開平9-204478
 【公開日】平成9年8月5日(1997.8.5)
 【年通号数】公開特許公報9-2045
 【出願番号】特願平8-10739
 【国際特許分類第7版】

G06F 19/00
 17/30

【F1】

G06F 15/24
 15/40 370 G

【手続補正書】
 【提出日】平成13年12月14日(2001.12.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】画像によるカタログ販売のための商品の画像データを記録する第1の情報記録手段、及び前記画像データを前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて前記情報記録手段に記録させる第1の演算制御回路を備える第1の商品情報システムと、利用者の画像データが記録された第2の情報記録手段、前記利用者の画像データに基づいて前記利用者の画像を表示させる表示手段、及びインターネットを介して前記第1の演算制御回路に接続され且つ前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の画像が選択されたときに前記利用者の画像に前記商品の画像を寸法合わせて重ね合わせて前記表示手段に表示させる演算制御回路を備える第2の商品情報システムを有する商品情報システムであって、前記第1の情報記録手段には前記商品を複数の撮影角度で撮影した画像データが前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて記録され、前記第2の情報記録手段には前記利用者を複数の撮影角度で撮影した画像データが記録されていると共に、前記第2の演算制御回路は、前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の複数の異なる撮影角度の画像と前記利用者の複数の異なる撮影角度の前記画像とを対応させて重ね合わせると共に寸法合わせして、この重ね合わせられた商品の画像と利用者の画像を前記表示手段に表示させることを特徴とする商品情報システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0003
 【補正方法】変更
 【補正内容】

【0003】この様なCD-ROMやインターネット或はパソコン等の普及により、これらを利用して商品情報を画像と共にデジタルデータとして各家庭に供給しようとすることも試みられている。

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正内容】
 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この様にして選択して注文した商品が果たして自分(注文者)に合うか否かを、本人が判断するのは困難であった。しかも、色彩データが商品画像と共に得られたとしても、選択した商品が自分の顔に合わなかったり、或はL、M、S等のサイズデータが商品画像と共に得られたとしても、商品が自分の体型に合わなかったりすることも考えられる。

【手続補正4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0007
 【補正方法】変更
 【補正内容】
 【0007】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、請求項1の発明は、画像によるカタログ販売のための商品の画像データを記録する第1の情報記録手段、及び前記画像データを前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて前記情報記録手段に記録させる第1の演算制御回路を備える第1の商品情報システムと、利用者の画像デ

ータが記録された第2の情報記録手段、前記利用者の画像データに基づいて前記利用者の画像を表示させる表示手段、及びインターネットを介して前記第1の演算制御回路に接続され且つ前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の画像が選択されたときに前記利用者の画像に前記商品の画像を寸法合わせて重ね合わせて前記表示手段に表示させる演算制御回路を備える第2の商品情報システムを有する商品情報システムであって、前記第1の情報記録手段には前記商品を複数の撮影角度で撮影した画像データが前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて記録され、前記第2の情報記録手段には前記利用者を複数の撮影角度で撮影した画像データが記録されていると共に、前記第2の演算制御回路は、前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の複数の異なる撮影角度の画像と前記利用者の複数の異なる撮影角度の前記画像とを対応させて重ね合わせると共に寸法合わせて、この重ね合わせられた商品の画像と利用者の画像を前記表示手段に表示させる商品情報システムとしたことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正内容】

【0017】尚、図1中、29は標準で白色の拡散反射板、18はビデオカメラ26で撮影を行う際に用いる照

明光源である。

【作用】

＜メーカー等における入力＞メーカーや商品販売業者は、パソコン20を用いて、自社または販売しようとする商品の情報を入力を行う前に、ビデオカメラ26の撮影条件データを計測する。即ち、照明光源18を点灯させて、照明光源18からの照明光を拡散反射板29に投影した状態で、拡散反射板29からの標準白の反射光束を色彩輝度計27で計測すると共に、拡散反射板29をビデオカメラ26で撮影して、このビデオカメラ26の画像データを色彩輝度計27のデータと比較させて、この比較データをビデオカメラ26による撮影時の標準白色のデータ（照明条件データ）としてハードディスク25に記録させる。この比較・記録は演算制御回路21aによって行われる。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正内容】

【0034】この様にして画面3a上で確認した商品が気に入った場合には、「オーダー」の枠にカーソル5aを合わせてマウス5の左ボタンをクリックして、図12に示したオーダー画面を画面3aに表示させる。そして、この画面において、「支払い」の方法をマウス5によりAMEX、VISA、MASTER等の中から選択し、次に「氏名」や「住所」をキーボード4を用いて行う。次に、この記載内容に間違いがある場合には、「キャンセル」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、図11に示した前画面に戻すことができる。また、記載内容で商品を注文したい場合には「確認」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、パソコン1の演算制御回路2aは注文内容をメーカー側のパソコン20の演算制御回路21aにインターネットCを介して入力し、この入力データをハードディスク27に記録させる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正内容】

【0042】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1の発明は、画像によるカタログ販売のための商品の画像データを記録する第1の情報記録手段、及び前記画像データを前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて前記情報記録手段に記録させる第1の演算制御回路を備える第1の商品情報システムと、利用者の画像データが記録された第2の情報記録手段、前記利用者の画像データに基づいて

前記利用者の画像を表示させる表示手段、及びインターネットを介して前記第1の演算制御回路に接続され且つ前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の画像が選択されたときに前記利用者の画像に前記商品の画像を寸法合わせして重ね合わせて前記表示手段に表示させる演算制御回路を備える第2の商品情報システムを有する商品情報システムであって、前記第1の情報記録手段には前記商品を複数の撮影角度で撮影した画像データが前記商品の画像の実際の寸法と関係付けて記録され、前記第2の情報記録手段には前記利用者を複数の撮影角度で撮影した画像データが記録されていると共に、前記第2の演算制御回路は、前記第1の情報記録手段に記録された画像データに基づく商品の複数の異なる撮影角度の画像と前記利用者の複数の異なる撮影角度の前記画像とを対応させて重ね合わせると共に寸法合わせして、この重ね合わせられた商品の画像と利用者の画像を前記表示手段に表示させる構成としたので、選択する商品の寸法が自分に合うか否かを商品選択時に容易に確認することができる商品情報を提供できる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【公開番号】特開平9-204478
【公開日】平成9年8月5日(1997.8.5)
【年通号数】公開特許公報9-2045
【出願番号】特願平8-10739
【国際特許分類第7版】

G06F 19/00
17/30

【F1】
G06F 15/24
15/40 370 G

【手続補正書】
【提出日】平成13年12月21日(2001.12.21)

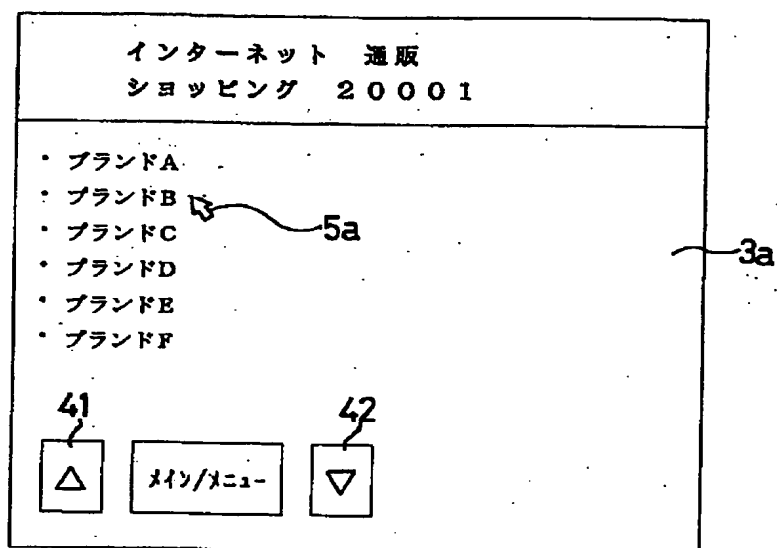
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】変更
【補正内容】

【0034】図8の画面において、メイン/メニューの中の「ブランドB」を見たい場合には、ブランドB部分にカーソル5aを合わせてマウス5の左ボタンをクリックし、図9に示した商品紹介画像が表示された複数の画像枠40を画面3aに表示させる。尚、図9中、図示する上での便宜上、一つの画像枠40のみに商品紹介画像が表示されている状態を表示させたが、実際には他の画像枠40にも商品の画像が表示される。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0040
【補正方法】変更
【補正内容】
【0040】この様にして画面3a上で確認した商品が気に入った場合には、「オーダー」の枠にカーソル5a

を合わせてマウス5の左ボタンをクリックして、図12に示したオーダー画面を画面3aに表示させる。そして、この画面において、「支払い」の方法をマウス5により支払い方法A1、支払い方法B1、支払い方法C1等の中から選択し、次に「氏名」や「住所」をキーボード4を用いて行う。次に、この記載内容に間違いがある場合には、「キャンセル」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、図11に示した前画面に戻ることができる。また、記載内容で商品を注文したい場合には「確認」の枠にカーソル5aを移動させてマウス5の左ボタンをクリックすることにより、パソコン1の演算制御回路2aは注文内容をメーカー側のパソコン20の演算制御回路21aにインターネットCを介して入力し、この入力データをハードディスク27に記録させる。

【手続補正3】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図8
【補正方法】変更
【補正内容】
【図8】



【手続補正4】

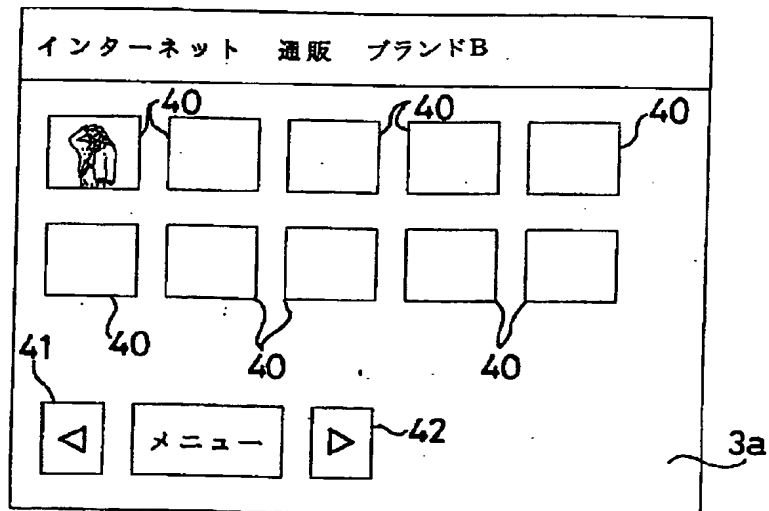
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

*【補正方法】変更

【補正内容】

*【図9】



【手続補正5】

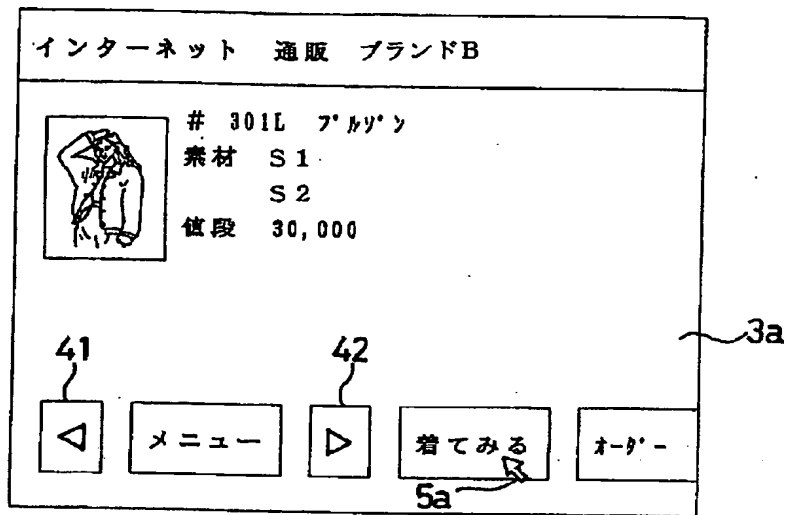
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10

【補正方法】変更

【補正内容】

【図10】



【手続補正6】

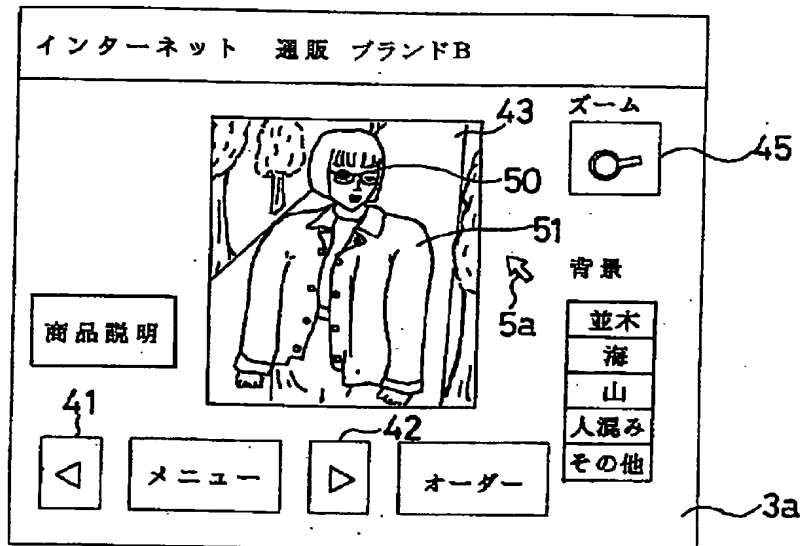
*【補正方法】変更

【補正対象書類名】図面

【補正内容】

【補正対象項目名】図11

*【図11】



【手続補正7】

【補正方法】変更

【補正対象書類名】図面

【補正内容】

【補正対象項目名】図12

【図12】

オーダー
#3012
支払い ・支払い方法A1・支払い方法B1・支払い方法C1

氏名 _____
住所 _____

3a

確認 キャンセル